

## 川崎市黒川地区における取り組み

【横浜川崎支部】 横浜川崎地区農政事務所 地域農政推進課



### ○地域の状況

川崎市黒川地区は、川崎市麻生区の北西部に位置し、南東以外は東京都の稲城市、町田市に囲まれ、丘陵と谷戸の入り組んだ地形となっています。

東部には畑と樹園地からなる黒川東地区、南西部には畑・樹園地や谷戸田のある黒川上地区があります。

東部には京王相模原線「若葉台」駅と小田急多摩線「黒川」駅があり、

隣接地域は宅地化が進むなど、急激な都市化が進行しました。

そのような中、当地区は、昭和47年に農業振興地域に指定され、国庫事業や県単事業などにより、生産基盤や生活環境等の整備が進められ、都市化を免れたため、昔ながらの希少な田園風景が残ることとなりました。

周囲の都市化が進行する中で行政、地域住民、地元大学等が連携して昔ながらの風景を守っている当地域の主な取り組みを紹介します。

### ○生産基盤、施設整備等の状況

生産基盤整備（昭和53年～平成9年）

ほ場整備（14.6ha）、農道整備、農地造成（17.2ha）、灌漑排水など

近代化施設整備（昭和53年～62年） 温室（12棟）、機械格納庫、農業用機械など

生活環境整備（昭和62年～平成2年） 農村広場整備、連絡道、集落防災安全施設など

### ○大型直売所の建設



小田急「黒川駅」近くに、平成19年度大型直売センター整備支援事業により建設された大型直売所「セレスアモス」の年間売り上げ（生産物）は6億円を超え（平成29年度）、地域住民へ新鮮な生産物を提供するとともに、地域の生産者の耕作意欲向上につながっています。

セレスアモス麻生店(※) 以下、(※)印の写真は川崎市提供

## ○里地里山保全のとりくみ

平成 26 年 3 月 17 日、「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」に基づき、黒川地区全域が里地里山保全等地域に選定されました。

同年 8 月 7 日には地元の活動団体「黒川里地里山保全会」が県と「黒川里地里山活動協定」を締結し、県の支援を受けて農林地の保全活動等に取り組んでいます。

### 《里地里山保全等地域の概要》

川崎市里地里山保全等地域 201.91ha

川崎市北西部に位置し、都心に近く市街地に隣接しながらも、谷戸田、畑、斜面林等で構成され、良好な里地里山景観が残る地域



黒川地区の里山の風景

## ○明治大学との連携

平成 24 年 4 月に明治大学の黒川農場が当地に開場しました。これに先立つ平成 21 年度には、「農業研究・実験機能」、「山林の保全と活用機能」及び「農業体験・交流機能」における連携を通じた黒川における地域づくりを推進することを目的に「明治大学・川崎市黒川地域連携協議会」が設置されました。

そして、平成 25 年度には「農産物等研究専門部会」、「地域活性化検討専門部会」、「里地里山保全利活用専門部会」が設置され、具体的な推進活動について検討されています。

この検討結果を踏まえ、次のような取り組みが行われています。

### 【主な取組】

- ・ 地元農産物の販売促進と加工品の開発
- ・ 大学と農家の意見交換会
- ・ 明治大学が開発したアスパラガスの新たな栽培方法（とりっきり栽培）の実施
- ・ 黒川産農産物の P R 黒川農場収穫祭等における販売
- ・ 農や地域環境を体感するイベントの実施
- ・ 里山・景観づくりの検討
- ・ 「竹炭シンポジウム in 川崎」の開催

- ・市民を対象にした野菜の収穫体験等グリーンツーリズムの実施
- ・地域環境を活かした、アーティストによる作品展示など里山アート展示の実施
- ・里山の保全管理や活用の推進
- ・草刈りなど、里地里山保全活動体験の実施
- ・地元小学生を対象とした竹あんどんづくりの実施



草刈り作業(※)



里山アート



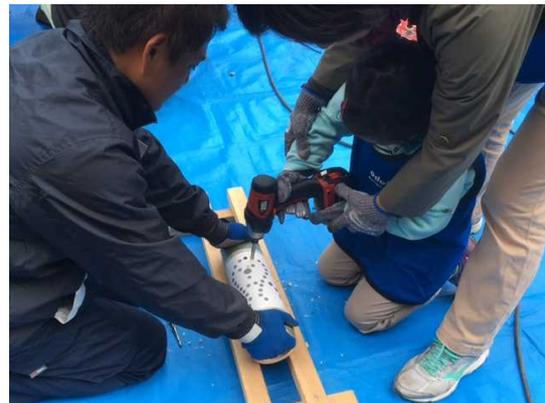
黒川農場での販売(※)

### ○企業との連携

小田急電鉄と市、黒川里地里山保全会が連携して、沿線住民（親子）などを対象に、黒川地区のほ場見学、野菜収穫体験、竹あんどんづくりなどのイベントを行っています。



ほ場見学



竹あんどん作り

このように様々な取り組みが意欲的に行われており、地域と都市住民とのふれあいや連携をとって今後も貴重な田園風景が保全されることが期待されます。